



# 第 11 回



## テニュアトラック教員支援セミナー

日時：2013年10月2日(水) 18:00～19:00

場所：外来センター 大会議室

公開セミナーです

演者：富田泰輔 先生

所属：東京大学大学院薬学系研究科臨床薬学教室 准教授

タイトル：「先制医療を目指した

アルツハイマー病治療薬開発に向けて」

要旨：現在、アルツハイマー病(AD)患者脳の病理学的特徴である老人斑の主要構成成分であるアミロイドβタンパク(Aβ)の産生および蓄積がADの発症に深く関係しているという、「アミロイド仮説」が支持されている。しかし認知症発症後の患者に対する抗Aβ療法の治験では、認知機能の改善には至っていない。そこでAD発症リスクを分子レベルで正しく理解し、リスクの高い個人に対し予防的に抗Aβ療法を行う、先制医療(Pre-emptive medicine)の必要性が強く示唆されている。Aβは、前駆体タンパクAPPからβ及びγセクレターゼによる2段階の切断により生じ、分解酵素やミクログリアの貪食などにより除去されることで脳内レベルが制御されている。我々はこれまで特に2つのセクレターゼによる切断機構の理解と活性制御法の開発を推進してきた。また近年はシーケンシングの技術革新により様々な遺伝学的AD発症リスク因子が同定され、細胞内輸送、脂質代謝そして脳内炎症関連パスウェイの異常がAD発症に関与していることが明らかとなってきた。そこで我々は各リスク因子のもたらす分子病態についても注目し解析を進めている。これらの知見を基に、科学的根拠に基づいたADの先制医療・治療法の開発を目指したい。

### ■お問い合わせ

統合医科学研究所 古川 徹(内線29675) furukawa.toru@twmu.ac.jp

総合研究所 竹宮孝子(内線30425) takakot@lab.twmu.ac.jp